

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第2区分

【発行日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【公表番号】特表2008-532769(P2008-532769A)

【公表日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-033

【出願番号】特願2008-500233(P2008-500233)

【国際特許分類】

B 2 3 K	1/00	(2006.01)
B 2 3 K	35/30	(2006.01)
C 2 2 C	5/06	(2006.01)
B 2 3 K	31/02	(2006.01)
B 2 3 K	1/20	(2006.01)
C 2 2 C	30/02	(2006.01)
B 2 3 K	103/16	(2006.01)

【F I】

B 2 3 K	1/00	3 3 0 Z
B 2 3 K	35/30	3 1 0 B
C 2 2 C	5/06	Z
B 2 3 K	31/02	3 1 0 C
B 2 3 K	31/02	3 1 0 A
B 2 3 K	1/20	B
C 2 2 C	30/02	
B 2 3 K	103:16	

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月13日(2010.7.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項4】

ジルコニウム又はジルコニウム合金のライニングへのチタンの被着を、陰極スパッタリング、プラズマで補助されるPVD(物理蒸着)、プラズマで補助され得るCVD(化学蒸着)、「冷間溶射」タイプの熱プロジェクション、真空プラズマトーチから選ばれいずれかの方法によって実施し、ライニング表面は好ましくは前もって清浄、脱脂され、イオン酸洗により酸洗いされている、請求項1~3のいずれか一つに記載の製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項11

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項11】

チタン又はチタン合金の層でライニングされたジルコニウム又はジルコニウム合金の薄板の製造方法であって、チタン又はチタン合金を、

- 10^{-4} Torr ~ 10^{-2} Torr の間に含まれる圧力下でマグнетロン陰極を備えた

エンクロージャ内での陰極スパッタリング、

- プラズマで補助されるPVD(物理蒸着)、

- プラズマで補助され得る CVD (化学蒸着) 、
- 「 冷間溶射 」 タイプの熱プロジェクト、
- 真空プラズマトーチ、

から選ばれるいずれかの方法によって、

被着させ、そのいずれの場合でも前記薄板の表面が好ましくは前もって清浄、脱脂され、場合によってはイオン酸洗により酸洗いされていることを特徴とする、チタン又はチタン合金の層でライニングされたジルコニウム又はジルコニウム合金の薄板の製造方法。